

■奉仕の理想 (Ideal of Service)

「何処においてもロータリー・クラブにも、一つの基本となる理念を大切にしている、それは他人を思いやり、そして他人のために尽くすことである」(チェスレー・ペリー)

“Rotary clubs everywhere have one basic ideal the "Ideal of Service", which is thoughtfulness of and helpfulness to others.”

●超我の奉仕 (奉仕の哲学) : ”Service above Self”

●最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (実践倫理) :

”He profits most who serves best”/ They(He/She) profit most who serve best

■ロータリーの綱領 (目的) : Object <日本語訳修正案がある>

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。

第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。

第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

■四大奉仕部門 : Four Avenues of Service

ロータリーの四大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの活動の哲学的および実際的な基準である。

1. 奉仕の第一部門である**クラブ奉仕**は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。

2. 奉仕の第二部門である**職業奉仕**は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。

3. 奉仕の第三部門である**社会奉仕**は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。

4. 奉仕の第四部門である**国際奉仕**は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動からなるものである。